

OB会員 各位

18年度 青学ラグロス部 OB総会 議案

	担当	時間
1)開会の辞	温湯	1
2)活動報告		
a)17年度活動実績/18年度活動計画	竹花	10
b)体育会OB連合会活動状況	中村	5
c)産業勉強会・就活支援	青木/江幡	8
d)学生戦績・活動状況	関口	8
3)会計報告		
a)17年度実績/18年度予算	加藤	10
b)会計監査	温湯	1
4)会則改訂	加藤	5
5)幹事会体制	竹花	5
HPの紹介 http://alumni-aogaku.jp/ivy078	温湯	2
6)自由討議	全員	54
7)決議		5
8)閉会の辞	温湯	1
アンケート	全員	5
	合計	120

お願い)

決議終了後にご賛同頂ける方は支援費を会場入口にて受付いたします
ご協力、どうぞ、宜しくお願い申し上げます

■OB総会

日時:2018年6月9日(土)

場所:青山学院大学 青山キャンパス 17号館406号教室

受付開始 14:00 *お名刺を頂戴したくご協力を願います

総会 14:30-16:30

■懇親会

日時:2018年6月9日(土) 17:00-19:00

場所:アイビーホール宴会場

会費制

■OB会 過去の活動まとめ

OB会は90年代より活動し2002年10月にOB会の中に後援会を発足させ、現役チーム支援を目的に活動を続け現在に至る。OB会員数は17年度末時点で244名(17年度卒含まず)創部は1987年、体育会承認は2010年。1991年に第1回ラグロス全日本選手権を制覇、過去に代表選手を多く輩出。現在2部リーグ所属も部員数男子約100名の大所帯に拡大。後援会として体育会OBOG連合会にも参加。

直近5年間では、17年度OB会はOB会員の一元化に向け対象領域を徐々に強化・拡大。OB会則を定め顧問熊谷教授へ定期報告する等、関係者への理解活動を促進。また、未来指向で中長期ビジョンの議論を通じ我々が将来なりたい姿を並行議論しOB会員同士の交流と現役生の未来の活躍を支援するために活動量を段上げ。

将来にわたる持続的且つ強固な基盤構築に向けた具体的活動の一例として、18年1月にOB会主催の産業勉強会を新規に立ち上げ、OB(OG)が自ら学習する機会を創出。更に、現役生向け就活セミナーを強化し連携させ、メンター制による後輩育成の仕組み化に取り組み始めたところ。

大学が掲げる文武両道の精神の下、OB(OG)会員同士の交流と現役生支援を軸としつつ学生も参加できる産業勉強会と就活支援を結びつけながら生涯学習機会の幅を広げ、愛校精神を一段高め学校法人青山学院に貢献しようとしている

■17年度 振り返り

<主要課題> *順不同 : 体育会OBOG連合会・校友会から側面支援頂く領域

領域	課題	担当者	改善の方向性
情報共有・連絡方法/頻度	News(量・厚み)不足	温湯	現幹事会メンバーでは時間的制約からOB会員に発するNewsを十分に作り出せないため広く価値ある情報を収集。学校法人青山学院のNewsを利用させていただき量を拡大 大学や体育会OB連合会の情報共有や30年史更新、既存/新規活動からNewsを創出し発信力を高める
	(全員メールリストへの)メール発信回数 13回/年 *学生10回/年含まず	竹花	メール発信に加え、何時でも全体が閲覧・俯瞰でき誰でも第三者に説明できる網羅性の高い情報基盤構築が必須 現役チーム公式HP agulax.comにOBページを追加検討する等ステークホルダーへの発信力を段上げ
名簿管理	OB名簿精度が上がらないこと	竹花	地道なアップデートで精度を向上。校友会サイトへのOB情報直接入力での住所等の結合を検討
会計の透明性	会計監査レベルアップ	加藤	将来を見据え、通帳・伝票管理・第三者説明を仕組み化。四半期フォローを会員に説明しやすく改善
後輩への知識・経験還元	社会人選手への支援なし	竹花	日本代表や代表候補選出OBに支援する仕組みを整備し経験の還元を仕組み化
	OG会員との協調不足	温湯	OG巻き込みを通じ経験値を段上げ(産業勉強会 OG会長篠さん参加etc.)
振り返り文化	効果測定の弱さ	加藤	経験値積上げ効果を加速させるため、例えばグラウンド代支援50万円の費用対効果の振り返りを現役チームと一緒に1円でも有効にOB会費活用。OB自身が何事も丁寧に振り返るマナーを後輩に見せて振り返り文化を醸成していく
安全・安心	現役生 セーフティネット不足	温湯	地上最速格闘技ラグロスに思いきり打ち込むことができるようラグロス保険拡充などの補償拡大プロジェクトを立ち上げ
	慶弔	温湯	弔問対応できる備えを推進
	小規模な大学・他団体寄付	中村	現時点で十分な貢献ができておらず、将来を見据えた会費からの捻出を検討する素地作りから着手
個人費用持出し	水面下で発生する多額な個人負担	加藤	コーチ陣の交通費自腹払い、会議室等の個人負担を取りやめしっかりとOB会費から捻出。OB会員全員に活動内容を理解してもらい自然に応援してもらえるよう会費徴収に努力
五輪	東京五輪活用意識の弱さ	温湯	ごみ拾い・清掃などのボランティアに参加、地域社会への貢献を高める
愛校心	OB会員の皆様からラグロスOB会・青山学院への関わり方の弱さ	全員	OB会員の関心事項の汲み取りを通じ、OB会員の皆様の力をお借りする機会を作り参加頂く企画、実行力引き上げ、マンパワー補充の検討

30年史
(裏面)

■過去5年間の活動実績 及び18年度重点施策

年度	OB会			現役生			OB会員			学校法人青山学院		
	会長	会員数(人)	予算実績(万円)	現役支援 プレー支援	就活	OB交流	会員交流 情報発信手段	会員間交流	会計	顧問	体育会OB連合会	大学/校友会
2002	加藤	100	25	用具費支援	支援(個人)	OB戦	メール					
2013	中村	190	25	↑ グラウンド代支援 コーチ費支援 小 現役総会OB表彰	↑	↑	↑			新倉教授 報告 不定期	総会参加 イベント支援	
2014	↑	200	35	↑	↑	↑	↑			↑	↑	
2015	↑	210	45	↑	↑	↑	↑			↑	↑	
2016	↑	220	57	↑	就活相談会	↑	↑			↑	↑	青山スピリット (16/8掲載) 3期東海林
2017	温湯	244	111	↑	就活セミナー メンター制(5名)	↑	↑	OB総会 30年史まとめ	四半期実績 発信	熊谷教授 四半期報告	↑ コーチスセッション 結果共有	OB会則 経済学部講義 産業論 第15回 1期温湯 (日本自工会 17/7)

大学 / OB連合会 年度方針	①学生就活 ②指導者サポート(コーチスセッション等) ③青山スポーツ(連合会広報誌) ④スポーツ支援課連携 ⑤スポーツ推薦制度拡大	新経営宣言							
2018(案)	用具費支援 グラウンド代支援 コーチ費支援 大 現役総会OB表彰 機動予算扱い 例)海外短期LAX留学 合宿参加費支援 ラグロス保険拡充等	支援(個人) 拡大就活セミナー メンター制(5名) 3年・2-1年生 対象拡大	OB戦 産業勉強会(6回) 現役生向テーマ追加 4年生卒論プレゼン	メール HP開設 (校友会Aite-Gr)	OB総会 30年史まとめ 産業勉強会 他大学ベンチマーク 中長期ビジョン 幹事会議事録 各代表連携 社会人選手支援 OG連携 五輪ボランティア 海外駐在者便り 慶弔 等	四半期実績発信 おためツル開発	熊谷教授 四半期報告	コーチスセッション 結果共有 +α	校友会 代表者会議

18年度は大学・連合会方針と重ね合わせながら、中長期・短期両面から優先的取り組み事項を定め、限られたリソースを集中投下。会員交流と後輩育成の両面で、あらゆる機会を創出し続ける

■18年度 方針

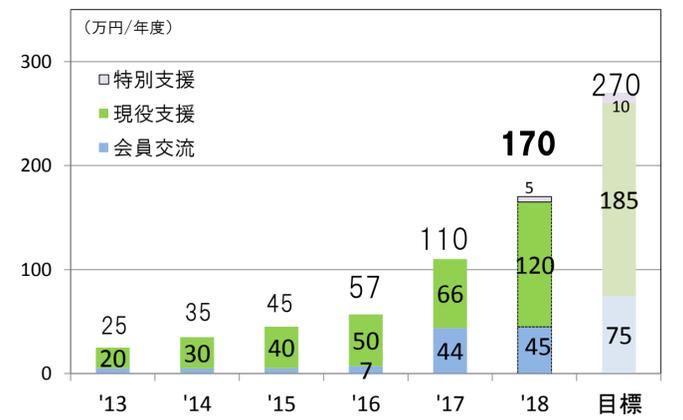
1)基本的な考え方(案)

中長期に渡って強い青学ラグロス部を目指し、その為の安定的な支援・運営基盤としてのOB会を構築していく。中長期目線の取組みと今すぐできる取組みをバランス良く前進させ“会員同士の交流”と“現役生支援”の両面を推進する

2)予算 主な新規/強化活動

- ①コーチ陣自己負担大幅軽減(他大学と闘える水準へ) 60万円 *大幅増額
- ②現役チーム要望への支援(備品・グラウンド代等) 60万円 *増額
- ③体育会OB連合会スポーツ振興基金 20万円 *継続(18年度まで)
- ④会員交流と後輩育成の両立 10万円 *継続
産業勉強会・就職セミナー

<OB会支出実績/予算 目的別推移>



会員へのお願い : 上記取組みに賛同頂ける方は是非とも支援金の振込みをお願い致します
三井住友銀行 中野支店 普通預金 口座番号 4238046
青山学院大学体育会男子ラグロス部OB会代表 中村あゆみ *振込み時は期・名前を明記下さい(例 #11 アベイチロー)

